

(3) 感染症対策

ア 届出数

一類、二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢1件、腸管出血性大腸菌感染症の14件、四類感染症は6件、五類感染症（全数報告）は30件の届出があった。

平成24年

類型	病名	件数	類型	病名	件数
一類	—	0	五類	アメーバー赤痢	4
二類	—（結核を除く）	0		急性脳炎	3
三類	細菌性赤痢	1		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1
	腸管出血性大腸菌感染症	14		後天性免疫不全症	3
四類	A型肝炎	1		破傷風	1
	マラリア	1		梅毒	5
	レジオネラ症	4		麻しん	5
				風疹	7
				髄膜炎菌性髄膜炎	1

イ 新型インフルエンザ対策

発生動向調査等によりインフルエンザの発生状況を把握、新型インフルエンザ対策会議を開催した。

(ア) インフルエンザサーベイランス

五類感染症定点把握疾患として報告があったインフルエンザの定点あたり報告数の推移を埼玉県と比較、学校の学級閉鎖等の報告から管内の流行状況を観察した。

(イ) 入院サーベイランス実施状況

入院の報告は、平成23年9月から基幹定点の週報告に変わり、平成24年度は、14件の報告があった。

(ウ) 新型インフルエンザ対策会議の開催

新型インフルエンザ対策について、平成24年度埼玉県西部保健医療圏地域保健医療協議会で、新型インフルエンザ対策特別措置法の報告を行った。

日時	平成25年1月30日 13時30分～14時30分
会場	狭山保健所 大会議室
出席者	委員 20人、保健所職員 12人
内容	新型インフルエンザ対策特別措置法の制定について

ウ 麻しん対策

平成 24 年度までに麻しんを排除し、かつ、その後も排除状態を維持することを目標とし、麻しんに関する特定感染症予防指針が策定され、平成 20 年 1 月 1 日から適用された。

管内の麻しん患者発生予防及び予防接種対策を推進するため、狭山保健所管内麻しん対策会議を実施した。

	第 1 回	第 2 回
日 時	平成 24 年 6 月 19 日 (火) 9 時 30 分～ 11 時	平成 25 年 2 月 26 日 (火) 9 時 15 分～ 11 時 15 分
会 場	狭山保健所 小会議室	狭山保健所 大会議室
出席者	21 人	17 人
参 加 機 関	各市保健センター 予防接種担当 各市教育委員会 学校保健担当 埼玉県庁疾病対策課 狭山保健所職員	各市保健センター 予防接種担当 各市教育委員会 学校保健担当 埼玉県庁疾病対策課 感染症担当 保健所職員
内 容	①麻しん発生状況 ②平成 23 年度麻しん定期予防接種率調査結果 ③平成 24 年度麻しん予防接種実施状況 ④情報交換	①平成 24 年麻しん発生状況 ②麻しん予防接種対策について ・各機関の取り組み ・接種率について ③意見交換 ④その他 ・風疹・先天性風疹症候群について ・インフルエンザ流行状況について

エ 性感染症予防の普及啓発事業（平成 18 年度から実施）

HIV 感染者の 7 割が 20～30 歳代の青年層であることから、HIV を含めた性感染症に対する正しい知識を普及することは緊急の課題である。

地域の関係機関のネットワーク化を図り、青年層に対する性感染症に関する効果的な普及啓発を進め、性感染症に関して適切な行動を取れる状態を形成することを目的として事業を実施した。

(ア) 管内大学健康管理室等の連絡会

予防教育を進めるために、取り組みの状況や課題等について情報を共有した。

日 時	平成 25 年 2 月 28 日 13 時 30 分～15 時 30 分
会 場	狭山保健所 大会議室
対象者	管内大学 9 校の健康管理室等の職員（保健師、看護師、学生課長等） 管内市保健センター職員
参加者	6 大学から 6 人、保健センターから 2 人
内 容	・狭山保健所における HIV、STI 検査の現状 ・各大学における健康管理・健康相談（性感染症予防を含む）等について ・今年度の感染症トピックス

(イ) 中学校、高校における普及啓発

管内中学校 1 校 3 年生 186 人、高校 1 校 1, 2 年生 210 人を対象として、性感染症について講義を実施。管内高校の養護教諭部会にて保健所の性感染症検査について PR を行った。

また、中学校、高校の授業における講師の紹介や授業内容について、随時、相談を受けた。

オ HIV、肝炎等相談・検査

毎月第1土曜日にHIV即日検査、第2月曜日にHIV、C型肝炎、B型肝炎、梅毒、クラミジアの検査を実施した。検査の結果、B型肝炎2件、C型肝炎2件、クラミジア8件が陽性であった。

(ア) HIV等検査件数 (件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1土曜日	即日HIV抗体	16	—	15	24	9	18	—	—	15	19	21	23	160
第2月曜日	HIV抗体	2	8	10	18	16	12	—	20	16	—	—	17	119
	C型肝炎検査	3	6	10	17	15	12	—	20	15	—	—	18	116
	B型肝炎検査	3	6	10	17	15	12	—	20	15	—	—	18	116
	梅毒検査	3	7	10	17	15	12	—	20	14	—	—	16	114
	クラミジア検査	2	2	5	8	13	5	—	11	7	—	—	9	62

(イ) 相談件数

HIV等の相談件数は、延べ430件（電話408件、面接22件）であった。

カ 肝炎治療特別促進事業

B型及びC型肝炎ウイルスの除去を目的として行うインターフェロン治療で、保険適応となるものについて医療費の助成を行っている。平成22年4月から新たにB型肝炎ウイルスの増殖を抑える核酸アナログ製剤治療も助成対象に追加された。

医療受給者証交付数 (件)

種別	申請内容	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	合計
インターフェロン治療	新規	31	17	17	10	6	81
	延長	2	3	1	1	0	7
	2回目申請	0	5	3	3	4	15
	計	33	25	21	14	10	103
核酸アナログ製剤治療	新規	13	3	11	9	2	38
	更新	67	17	21	31	11	147
	計	80	20	32	40	13	185
合計		113	45	53	54	23	288

キ 感染症予防の保健指導

施設で、感染性胃腸炎、インフルエンザ等の集団発生の報告を受けたときは、保健指導を行い、必要に応じ、利用者、職員等を感染拡大のおそれが無くなるまで健康観察を実施。

また、学校での感染症の拡大防止を目的として研修会を開催した。

(ア) 施設における感染症集団発生報告数

対象感染症 (疑い含む)	施設の種別	件数	患者数			入院 者数	重篤 者数	死亡 者数
			入所 者等	職員	計			
感染性胃腸炎	介護・老人福祉関係施設	9	198	31	229	3	0	0
	障害関係施設	1	19	9	28	0	0	0
	計	10	217	40	257	0	0	0
インフルエンザ	介護・老人福祉関係施設	4	55	3	58	0	0	0
	障害関係施設	1	11	0	11	0	0	0
	計	5	66	3	69	0	0	0

(イ) 感染症予防研修会

日 時	平成24年10月31日 14時00分～17時
会 場	狭山保健所 大会議室
参加者	管内市保健センター職員1人、小学校養護教諭17人、中学校養護教諭15人 高等学校職員 16人、大学職員 3人
内 容	<p>1 講義「感染拡大を防ぐために ～インフルエンザ・感染性胃腸炎対策の基本と実践～」 講師：独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院 感染症管理認定看護師・感染症看護専門看護師 坂木 晴世 氏</p> <p>2 講演「A小学校での感染性胃腸炎集団感染を経験して ～発生時の対応と試みた対策～」 講師：所沢市保健給食課 主査兼指導主事 栗原 洋子 氏</p> <p>3 演習「生徒が教室で嘔吐したら?! ～汚物処理の実演～」 実習「手袋の着脱 ～感染拡大防止のために～」</p>